

# 野外炊飯

## 1. 概要

- 野外で食事を作り、みんなで会食します。
- 班の仲間との役割分担や、手順を考え効率的に調理や片付けを行うこと、また火や刃物、衛生面等の安全を確保することなどを意識して活動することがポイントです。
- 自然の家職員は【活動前の打合せ】【開始時の全体説明】【ナタ指導】【片付け時の点検指導】を行います。



## 2. 活動データ

 通年	 時間帯 朝・午前・午後* ※12月～3月は午後(夕食)不可	
 対象 なた有：小学4年生～ なた無：小学1年生～	 適正人数 1班10名まで 野外炊飯場：14班140名まで キャンプ場：24班240名まで	 活動形態 説明
 活動場所 野外炊飯場、キャンプ場	 所要時間 4～6時間	 費用 野外炊飯メニュー参照

## 3. 準備物

### 団体・個人で準備するもの

- 軍手（化学繊維製や滑り止め付きは不可）
- マッチまたはライター
- 新聞紙（火起こし用・1班2枚程度）
- 食器用洗剤・クレンザー（1班1つ程度）
- スポンジ、たわし（1班3つ程度）
- ステンレスたわし（1班3つ程度）
- ふきん（1班8～10枚程度）
- 皮むき器（必要に応じて）
- うちわ（火起こし用に必要に応じて）

### 自然の家で貸し出しできるもの

- 食器セット
- 調理器具
- 薪割りナタ、火バサミ
- 調理レシピ
- 手指消毒液
- 清掃用具（ほうき、ちりとり、じゅうのう）

### 食堂売店で購入できるもの（事前注文のみ）

- 食材（食堂売店にてお渡しします）
- ゴミ袋（食材の注文に含まれています）
- 薪（炊事場の薪倉庫にてお渡しします）

## 4. 実施手順

	プログラムの流れ	備考
(1)準備	①実施日の2週間前までに「野外炊飯活動計画書」を提出します。 ②活動の30分前に、団体の担当者と自然の家職員で打合せを行います。 a)活動場所確認 b)道具の貸出（無線機、点検表） ③食堂売店で食材を受け取り、数量の確認をします。 ④活動場所に移動します。	
(2)活動	⑤活動場所に全員そろったら、自然の家職員が説明を行います。 a)道具の準備 b)片付け方法 c)安全上の注意事項 ⑥各班に分かれて活動を開始します。 ⑦希望があった団体には、ナタを使った薪割りの方法について指導を行います。	<input type="checkbox"/> カラスなどの動物に食材を取られたり、高温になる場所に放置したりしないよう注意してください。  <input type="checkbox"/> 活動中の指導は、団体の引率者の方をお願いしています。特に、火や刃物の取り扱い、肉類等の衛生管理など、安全管理を徹底してください。
(3)片付け	⑧食器、調理器具は洗剤を使って洗浄します。鍋ややかん、鉄板に付着したすすもきれいに落としてください。 ⑨ゴミは生ゴミと燃やせるゴミに分別し、食堂に捨てることができます。空き缶やサラダ油の残りは食堂へ返却します。 ⑩薪はできるだけ燃やしきり、灰捨て場に捨て、水をかけて消火を確認します。 ⑪片付けが終わり、食器等の借用物品の数の確認ができれば、事務室に無線で点検の連絡をします。 ⑫職員が点検を行う際、団体の立会いで確認をします。点検がすべて終わったら活動終了となります。 <点検項目> a)食器・調理器具の洗浄状態 b)流し場のゴミ c)灰の処理 d)その他備品の返却	<input type="checkbox"/> 食器などの貸出物品は借用物品担当者の方が数を確認してください。 <input type="checkbox"/> 団体が持ち込んだものから出たゴミは持ち帰りとなります。  <input type="checkbox"/> 借用物品の返却は借用物品担当者の方をお願いします。  <input type="checkbox"/> 17:00以降は翌朝の点検になることがあります。